

# ハグしちゃう！ 2022

令和3年度 園長日より 13号

今年度のパオパオ最終号で、まさか自分が感染したことを書くことになるとは正直、想像しておりませんでした。感染したのと言っても説得力が全くないのですが、郵便物・新聞・宅配便に至るまで消毒して受け入れていたし、病院など人が集う所に行った後はジャンパーまで洗濯していました。歯磨きも1日3回・・・あんなにやっていたのに完全ではなかったんだ・・・感染してしまい、いつ？どこで？誰から？と自問自答が止まらない中、「感染を食い止めたと思って！」と言われ・・・救われました。感染した経験のある方、濃厚接触者となった経験がある方の苦悩・・・やっとなかった気がします。園児さんも、スタッフの二人も、私達も検査に行かなければ何事もなく生活していました。想像すると恐ろしいです。しかしながら、このような事態になり3学期の大切な日々を休園措置とさせて頂きました理由に私どもが園舎内の管理スペースに滞在していたことも大きな要因でもありました。園舎の事情とはいえ、改善しなければと思っております。実は新園舎の隣にアパートの建築を予定しており、新園舎はセコムにお願いし、私達はアパートへ住居を移し、園舎の近くで管理を続ける予定でした。今回の状況を踏まえ当初は園舎が完成してからと考えていた、アパートの建築を前倒しし秋には完成する予定となりました。実はこのアパートは空き部屋を、お母さま方にお茶会・勉強会等のフリースペースとして開放したり、不登校の卒園生に利用してもらったり、発達に凸凹があるお子さんの遊び場であったり・・・園舎の中では規制があって実行できない事に活用したいと思っております。といいながら・・・3連休にはホール側のおトイレが、すが漏りで水浸し・・・屋根の氷を夜にはがして・・・という事が起き、屋根の修理ではなく、気温差での現象・・・やっぱりあと1年は人的管理が必要と実感しています。もうしばらくの間、ご理解願います。

長い休園をいただき、申し訳ございませんでした。そして本当にありがとうございました。

さて！最終号は、大好きな年長さんの卒園を心から祝い、室蘭幼稚園に通ってくれた日々に感謝し、メッセージを送りたいと思います。

年長さんは入園式から2月までは極いつも通りの幼稚園生活でした。2月に新型コロナウイルスの一報。3月の登園日はありませんでした。この時の年長さんは卒園式だけはやる！と決めて、当日5人だけお手本としてリハーサルを行い、ぶっつけ本番の卒園式でした。緊張と感動と誇らしさに満ちた卒園式でした。まさかその2年後の今まで、新型コロナウイルスの影響を受けるとは想像していませんでした。この頃はマスクがない！消毒液が売っていない！と対策するにも物がなく、マスクは手作りのマスクが主流で、沢山、寄贈して頂きました。この間、有名人の方の訃報が続く、恐怖がつのりました。4月になっても改善されず、休園が5月にまで及び、折り紙製作などご家庭で行って頂きましたね！YouTube等の動画で色々発信し、

経験のないコミュニケーションを取らせて頂きました。何がいいのか？どうしたらいいのか？全くわからない中、とにかく子ども達との繋がりを切らさないように必死だった事が思い出されます。

久しぶりに再会した時は嬉しかったですね！年中さんになっていました！個性が多様で動きも激しく、先生方が本気で叱ることもいっぱいでしたね！叱るという事は私たちの仕事の上で1番重要な時間です。事実と思い・・・ここにすれ違いがあってはならないからです。学年が小さい時は手が出たり、物の取り合いだったり、自己抑制に関する事が多いのですが、年中・年長になると、他者を思いやる事が出来るか！がポイントになってきます。大きなトラブルや目に見える事は、伝えやすいのですが、何度も繰り返す行為や、他者の思いが受け止められない時は私の出番です。そして、子ども達は私がボスだという事をよくわかっていて、この時間は私にとっても真剣勝負で大切な時間でした！

他者を思いやるという事は経験が大切です。お家でのお父さん、お母さんの様子をちゃんと見ています！「家庭が練習場！」私の尊敬する内田玲子先生の言葉を思い出します。そんな内田玲子先生は現在、病に伏していますが、いつの時代も、どこの地域でも子育ての基本は何ら変わっていない気がしています。他者を思いやる気持ちをお家で育む事は簡単ではありません。私だってまだまだ未熟で失敗します。失敗して反省してまた失敗していいんです！時々でいいので、自分の使っている言葉や、行動を振り返ってみてください。

自己表現が得意な子もいます。苦手な子もいます。自己表現が得意な子には実はトラブルも多いです。自己表現が苦手な子のトラブルは少ないです。しかし、トラブルは目に見えやすいものと、目に見えにくいものがあります。何もないからいいや！と安心せずに、いくつになっても愛着を日々、いや時々でも！確認してください！確認の仕方は・・・自由です！大いにオリジナリティを発揮してください。

何事にも興味を持ってくれて、目をキラキラさせて、やってあげがいのある？子ども達でした！ご家族の皆様協力もひしひしと感じておりました！卒園は寂しいけれど、成長した年長さんを見て、誇らしく送り出したいと思っています。まだまだ3月の予定に不安がありますが、超最高の卒園式に致しましょう！

在園の皆様にもこの1年に感謝し深く御礼申し上げます！不自由が沢山の日々はまだまだ続きそうですが、命あってこそ喜びであり悲しみでもあります。楽しい事を一緒に喜び合うのは簡単ですが、大変な時を共に過ごすことの意義を感じ、今後も一緒に歩んで行けたらと思っています！どうぞよろしく願いいたします。

私が息子たちにしていくことは、1番最初の応援団で、1番最後まで応援団！である事。

令和3年度お世話になりました！そして、本当にありがとうございました。

早く思い切りハグ出来る日が来ますように・・・

室蘭幼稚園 園長 小倉真弓製